

部局長会議議事要旨

日時 平成23年2月15日(火) 14時50分～17時25分

場所 本部棟301会議室

出席者 鷲田総長、

西田、小泉、西尾、土井、門田、尾山、高杉、辻 各理事、

杉本(外)、片山(文)、友枝(人)、中尾(法)、阿部(経)、東島(理)、平野(医)、米田(歯)、

小林(薬)、馬場(工)、戸部(基)、木村(言)、松繁(国院)、今瀬(情)、難波(生)、谷口(高)、

菊谷(微)、山口(産)、長谷(蛋)、芹澤(社)、中田(接)、福澤(医病)、森崎(歯病)、

菊野(国際)、江口(博)、工藤(大)、谷口(先端)、高橋(世界)、奥西(日日)、岸本(核)、

竹村(サ) の各部局長

欠席者 遠山(小児)、疇地(レ)

オブザーバー 金水(コ)、木下総長補佐

前回議事要旨(案)の確認

前回(1月19日)の議事要旨(案)について、特に意見等があれば2月17日(木)までに企画部企画推進課へ提出の上、確定することとした。(なお、同日までに意見の提出はなく、原案のとおり確定した。)

議 事

1 医学系研究科における研究費の不正使用に関する調査結果について

医学系研究科における研究費の不正使用に関する調査結果の概要について、配付資料に基づき報告があった。続いて再発防止策の説明があり、各部局においても不正使用防止を徹底するよう要請があった。

2 平成23年度大阪大学年度計画について

平成23年度の年度計画(第1次案)を配付資料のとおり作成した旨の説明があり、文書にて照会を行うので、意見等があれば提出願いたい旨の依頼があった。

3 平成23年度大学留保ポスト配分案について

各部局から要求のあった平成23年度大学留保ポストの配分について、配付資料に基づき、総長及び理事による検討及び総合計画室における審議により配分案を作成した旨の説明があった。

4 事務改革について

検収業務体制の検討結果及びこれまでに実施した事務改革施策に係る検証結果等について、配付資料に基づき報告があった。

5 大阪大学会館について

創立80周年記念事業として整備を行っている大阪大学会館について、配付資料に基づき、

講堂、アッセンブリーホール及び来賓室の利用に係る骨子案の説明があった。

6 TA制度改革についての検討案について

TA制度改革に係る教育・情報室における検討案について、配付資料に基づき説明があり、このうちのSTAについては平成23年度に試行を実施したい旨の説明があった。

7 平成23年度特別研究員の申請・採用状況について

日本学術振興会特別研究員に係る平成23年度の申請及び採用状況について、配付資料に基づき報告があった。

8 日本学術振興会賞の受賞について

平成22年度日本学術振興会賞について、配付資料に基づき、本学から2名の受賞が決定したことの報告があった。

9 平成22年度業務実績報告書の作成について

平成22年度の業務実績報告書作成に係る作業内容及びスケジュールについて、配付資料に基づき説明があった。

10 大学基盤推進経費により継続して実施する事業の検証結果について

財務室が実施した、大学基盤推進経費で措置した事業のうち平成23年度も継続して要求のあった事業に係る検証結果について、配付資料に基づき報告があった。

11 管理的経費の財務面からの検証について

財務室が実施した、過去3年間における管理的経費に係る財務面からの検証について、配付資料に基づき報告があった。

12 管理的経費の抑制について

管理的経費のうちカラースタンプに係る実績について、配付資料に基づき報告があり、引き続き管理的経費の抑制に協力願いたい旨の依頼があった。

13 グローバル30事業の組み立て直しについて

グローバル30事業の現在の状況について、配付資料に基づき説明があり、併せて、平成23年度予算における国際関連諸事業についての説明があった。

14 「ANNUAL REPORT OF OSAKA UNIVERSITY-Academic Achievement 2009-2010」の刊行について

ANNUAL REPORT OF OSAKA UNIVERSITYを配付資料のとおり刊行した旨の報告があり、次号作成への協力依頼があった。

15 本部事務機構の整理・統合について

平成23年4月からの本部事務機構の整理・統合について、配付資料に基づき説明があった。

16 吹田キャンパス関西電力鉄塔跡敷地の取得について

吹田キャンパス内にある鉄塔跡敷地を、所有者である関西電力株式会社から買い取るこ

について、配付資料に基づき説明があった。

1.7 本部事務機構の夏季一斉休業実施について

本部事務機構において例年どおり8月に夏季一斉休業を実施することについて、配付資料に基づき報告があり、併せて、各部局においても可能であれば一斉休業を実施するよう要請があった。

(以上)